



アドビシステムズ社が2000年会計年度第3四半期において 5期連続で過去最高の売り上げを記録

前年比26%成長を達成 同時に1対2の株式分割を発表

米国カリフォルニア州サンノゼ発(2000年9月14日)(NASDAQ: ADBE) Adobe Systems Incorporated(本社:米国カリフォルニア州サンノゼ)は、2000年度第3四半期(2000年6月~2000年8月期、2000年9月1日をもって終了)の決算結果を発表しました。

2000年度第3四半期(以下今期)の売り上げは、過去最高となる3億2,890万米ドルとなりました。前年同期実績は2億6,090万米ドル、および本年第2四半期は3億10万米ドルでした。売り上げは年率26%の成長を達成したことになり、5四半期連続で過去最高の売り上げを達成しました。

アドビシステムズ社の会長兼CEOであるジョンEワーノックは、「Webはコンテンツに関する爆発的な需要を生み出しています。当社の第3四半期の結果は、アドビシステムズが、市場動向を活用することのできる、優位な立場にいることを示すものです」と述べ、さらに「アドビシステムズ社取締役会が株式二分割を表明したことをお伝えできることを喜ばしく思います」と述べました。

今期の純利益(営業外損益を含む)は7,830万米ドルでした。なお前年同期実績は5,720万米ドル、本年第2四半期は6,580万米ドルでした。純利益の前年同期比成長率は37%となります。

1億2,790万株の加重平均株数に基づく今期の総発行済株式1株当たりの利益は、0.61米ドルでした。前年同期の1億2,970万株に基づく同利益は0.44米ドル、本年第2四半期の1億2,770万株に基づく同利益は0.52米ドルでした。

同社のベンチャー投資プログラムからの投資損益及び買収に伴う営業権の償却費などを除いた今期の総発行済株式1株当たりの利益は0.57米ドルでした。

今期における営業権の償却費及び事業再編等に伴う費用を除く営業利益は、過去最高の1億710万米ドルでした。前年同期実績は7,760万米ドル、本年第2四半期は9,700万米ドルでした。今期における営業権の償却及び事業再編等に伴う費用を除く売り上げに対する営業利益率は今期が32.6%、前年同期が29.7%、本年第2四半期が32.3%でした。

ジョンEワーノックは、アドビシステムズ社の今後の成長目標に関して、「アドビシステムズ社は現在3カ年戦略計画策定の最終段階に近づいています。来年度には少なくとも年率25%の売り上げ増を目指しています。11月に開催予定の当社のアナリストミーティング

においては、現在の業界におけるリーダーとしての地位をより拡張するために、当社がいかにして強力な人材、技術、財務の資産を活用していくかに関するビジョンを明らかにしたいと考えています」と述べています。

アドビシステムズ社はまた、オペレーティングモデル目標を高くしたことを明らかにしています。2000年度第4四半期および2001年度において、売上利益率93%および営業利益率31%を目標としています。さらに、2000年度第4四半期における実行税率を35.5%と見込んでおり、来年度には34%に下がるものと見えています。

アドビシステムズ社取締役会は、株式分割の形式により1株を2株に分割することを表明しました。同措置は2000年10月2日時点の株主を対象とし、2000年10月24日に実施されます。また、同取締役会は、2000年10月2日時点のアドビシステムズ社の株主に対して、2000年10月24日付けで配当される1株当たりの今期配当金は0.025米ドルになると発表しました。

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した将来的観測を含みます。そのような原因となり得る要素として、少なくとも以下のようなものが挙げられます。

- ・新製品やアップグレード製品が市場に受け入れられない可能性
- ・新製品や既存の製品の新しいバージョン納入の遅延
- ・競合他社の新製品の市場投入
- ・製品の平均売価の下落
- ・業界の新しい物流およびビジネス、情報配信モデルへの移行
- ・製品の過渡期にあることによるプリンティングビジネスの弱さ
- ・ビジネスを行っている地域での経済的混乱

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。詳しいリスクと不確実性については、Form10-K中の1999年決算報告書および2000年版Form10-Q中の四半期決算報告書などを含む証券取引委員会（SEC）資料をご参照下さい。

アドビシステムズ社について

アドビシステムズ社は、1982年に創立された、米国カリフォルニア州サンノゼに本社をおくソフトウェア会社です。これまで、Webおよび印刷、出版分野において定評のある様々なソフトウェアソリューションを提供し、多くの業界賞を受賞してきました。その優れたグラフィックデザイン、イメージング、映像・動画、そしてオーサリングのためのツールは、あらゆるタイプのメディアにおいて豊かで視覚効果あふれるコンテンツの制作、出版、配信を可能にします。アドビシステムズ社は米国を本拠とするパーソナルコンピュータ用ソフトウェア会社中第3位で、1999年の年商は10億ドルを超えています。アドビシステムズ株式会社はその日本法人です。詳細な情報は、Webサイトwww.adobe.co.jpでご覧いただけます。